

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	9		法令基準に合わせたスペースを確保しています。療育室と余暇室を分ける等落ち着いた活動に取り組めるようになっています。	
	2	9		基準よりも多くの職員を配置し、情緒面、学習面等、多方面から考え、個々に適した療育	
	3	9		現在、車いすを使用する児童の受け入れはありませんが、スロープもあり、室内は段差のないフラットな環境になっています。	
業務改善	4	9		定期的に職員会議を開催し、全職員が参加して日々の課題や改善点について話し合うように努めています。	
	5	9		いただいたご意見を全職員で共有、検討し業務改善に努めています。	
	6	9		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	9		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	9		COMPASS で作成した研修用オンライン動画等を用いた研修や外部の研修への参加等を通して、職員の資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	9	9		社内で統一されたアセスメントシートを用いて一人ひとりにあった計画を立案しています。	
	10	9		使用する書式を統一し、年齢、特性に合わせたアセスメントツールを使用し適応行動の状況を把握しています。	
	11	9		活動内容は個別支援計画をもとに職員がチームとなって協議しながら立案しております。	
	12	9		職員間で話し合い、固定化しないよう工夫しています。	
	13	9		長期休暇、休日には時間を最大限に活用できるように課題を設定しています。	
	14	9		個別療育だけでなく、集団療育を行い、児童の発達状況や保護者のニーズに合わせた支援計画を作成しています。	
	15	9		当日の支援内容や役割分担を支援開始前に確認し、前回の様子や気づきを職員間で共有し支援に繋げています。	
	16	9		当日の支援内容や役割分担を支援開始前に確認し、前回の様子や気づきを職員間で共有し支援に繋げています。	
	17	9		利用の度に必ず記録を残し、気づいた内容を共有、確認できるようにしています。	
	18	9		最低でも 6 か月以内に 1 度は、必ずモニタリングを実施し、計画の見直しに努めています。	
関係機関や保護者様との連携	19	9		ガイドラインに基づいた支援計画を作成しています。初回利用日までに、支援計画の内容を保護者様に説明し、同意を得た上で署名捺印をいただき、控えをお渡しした後に利用を開始しています。	
	20	9		担当者会議には、その児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者や保育士が参加しています。	
	21	9		児童のその日の様子や学校の下校時間の変更等を送迎時に直接担任の先生と共有・確認しています。	
	22	9		現在の医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	9		ほとんどの児童が就学前から COMPASS の児童発達支援事業所を利用しておりスムーズな情報共有と相互理解ができています。その他の関係機関との連携にも努めています。	
	24	2	7	現時点では対象となる児童がいませんが、その時期には適切に対応できるよう情報の整理をしていきます。	今後とも関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を計ってまいります。
	25	9		中横地区 COMPASS 児童発達支援センターをはじめとした専門機関との情報交換や共有を図っています。また、オンラインを活用し外部の研修へも参加しております。	全職員を対象とした外部との研修や対面での研修は実施できなかったため、今後は感染症の流行状況をみながら積極的に参加していきます。
	26	9		今年度も交流機会を企画できておりません。	感染症の流行状況や、保護者様のご意見を踏まえて地域との連携や交流を検討してまいります。
	27	9		現時点では協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加はできておりません。	感染症の流行状況をみながら、関係機関と連携を図り、参加できるように努めてまいります。
	28	9		送迎時に保護者様宅へ訪問した際や、来所された際に児童の様子や状況を保護者様に伝え、共通理解に努めています。	
保護者様への説明責任等	29	9		保護者様からの子育てのお悩みや、ご相談内容によって電話や面談等をおこなひ、その状況に応じて対応しております。	
	30	9		運営管理責任者や児童発達管理責任者が対応し、丁寧な説明に努め、いつでも質問に答えられるようにしています。	
	31	9		保護者様からの相談内容に応じて、さまざまなキャリアの職員が児童に何が必要か保護者様と一緒に考え、解決を目指しています。	
	32	9		現時点で、父母の会を開催する機会を持つことができておりません。	感染症の流行状況をみながら、個人情報に留意し、保護者様同士で意見や情報を交換できる場の企画をおこなってまいります。
	33	9		苦情への対応について苦情窓口のご案内をしており、解決のための会議も随時実施できるように役割分担をしています。	
	34	9		COMPASS だよりを期間発行し、公式 Web サイトのブログや YouTube 等の SNS で活動や児童の成長をご紹介しております。また、連絡帳カレンダーの裏面に日々の療育やイベントの様子を発信しています。	
	35	9		個人情報は鍵付き書庫で保管し、守秘義務については職員に周知徹底を図っております。写真掲載等、個人情報に関わる場合には保護者様の同意を得ております。	
	36	9		個々の特性に応じ、児童が理解できるように伝え方に配慮しています。保護者様へは専門用語を使わず分かりやすい言葉でお伝えできるよう努めております。	
	37	9		行事に地域の方を招待する等の企画には至りませんでした。	感染症の流行状況をみながら、保護者様のご意向をお聞きしたうえで、地域住民参加の行事も検討したいと考えております。
	38	9		各種マニュアルを策定し、玄関に掲示しております。防災活動や訓練をさまざまな災害を想定して実施しています。	
非常時等の対応	39	9		年度初めに年間計画を立て、定期的にさまざまな災害を想定した訓練を実施しています。	
	40	9		感染症対策の為外部への研修は随時参加できていませんが、年間計画を作成し、研修資料に基づいて虐待防止に関する勉強会を実施しています。	
	41	9		利用契約書にあるように生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合があります。支援計画に記載し、保護者様の同意を得ております。	
	42	9		アレルギーについては初回アセスメントの際に保護者様から聞き取り、全職員への周知・情報共有を徹底しています。	
	43	9		ヒヤリハットは報告書を作成し、全職員に共有して再発防止に努めています。	
	43	9		ヒヤリハットは報告書を作成し、全職員に共有して再発防止に努めています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。